

2, 4, 5-T 剤検討委員会について

◎開催趣旨： 埋設箇所に係る土壌対策等について、学識経験者からなる検討会で検討

◎開催時期： 昭和59年、平成元年、平成7年、平成11年

◎検討内容及び主な結果：

1 昭和59年

通達と異なる処理を行った29箇所の埋設地の水質及び土壌の2,4,5-T及びダイオキシン濃度等を調査。
その結果、

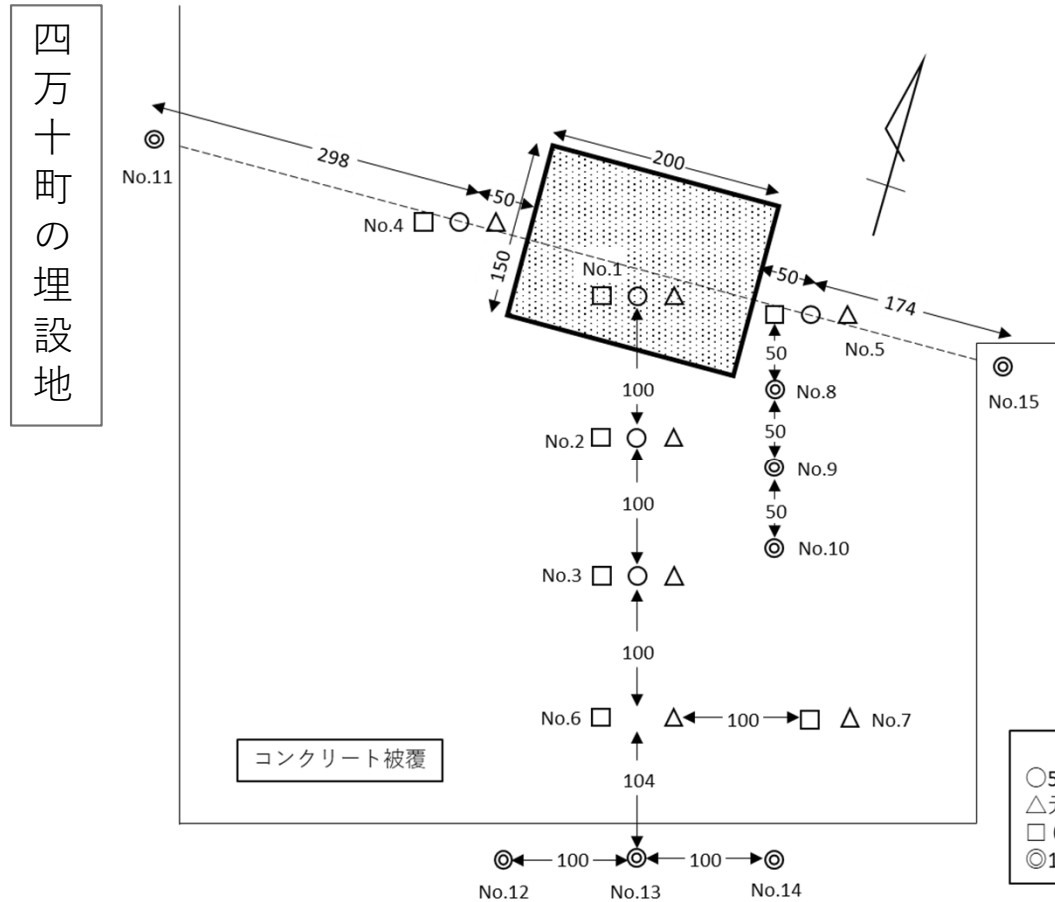
- ① 近隣の沢等から全く2,4,5-Tが検出されていないこと
 - ② 2,4,5-T剤が土壌中に流出している箇所においてもダイオキシンは埋設箇所の周囲にはほとんど拡散しておらずその直下に留まっているものと考えられること
 - ③ 埋設箇所が居住地から離れた森林内であり特定の者が反復して立ち入る恐れがないこと
 - ④ 埋設箇所については自然災害により表土が動く恐れがないこと
- 等から、土壌をかく乱する行為もしくはそのおそれのある行為を禁止することにより、現状においても地域住民生活等へ及ぼす影響はない、との検討結果。

2 平成元年、平成7年、平成11年

埋設量が多かった、高知県四万十町の埋設地（乳剤648リットル）及び鹿児島県屋久島町の埋設地（粒材3,825kg）について、昭和59年から引き続いて土壌調査。（次頁）

鹿児島県屋久島町の埋設地ではダイオキシンは検出されず、高知県四万十町の埋設地においても2,4,5-T及びダイオキシンは部分的に極微量局在しているものの、これらは土壌に吸着され、ほぼその位置に固定されており周囲への移動が認められないことなどから、埋設除草剤に含まれているダイオキシンが地域住民生活へ及ぼす影響はない、との検討結果。

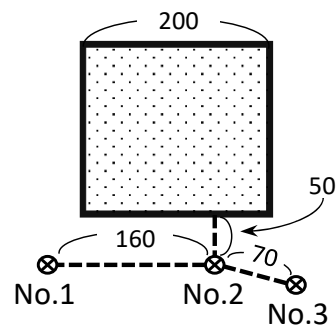
昭和59年～平成11年にかけて行った土壌調査の結果



調査地点	中心からの距離	深さ(m)	土壌中のダイオキシン濃度 (単位:百万分の1グラム)			
			59年	元年	6年	11年
NO.1	0m	2.3	17	2.3	ND	
		2.7	14	0.93	ND	
		3.2	11	0.17	ND	
		3.8	ND	0.03	ND	
		4.4	T	2.1	ND	
		4.8~4.9	ND	1.1	ND	
		5.5~5.8			ND	
NO.2	0.5m	2.2~2.3	ND	ND	ND	
		2.7~2.8	ND	ND	ND	
		3.4~3.7			ND	
NO.3	1.5m	2.3	ND	ND	ND	
		3.5	ND	ND	ND	
		4.5	ND	ND	ND	
		5.2~5.5			ND	
NO.6	2.5m	2.3		ND	ND	
		3.3		ND	ND	
		4.0~4.3			ND	
NO.7	3.3m	2.3		ND	ND	
		3.3		ND	ND	
		4.0~4.3			ND	
NO.4	1.5m	2.2	ND	ND	ND	
		3.6~3.8	ND	ND	ND	
		5.2~5.4	ND	ND	ND	
		5.55~5.7			ND	
NO.5	1.6m	2.5	ND	ND	6.4	
		3.2	ND	ND	14	
		4.7	ND	ND	0.07	
		5.6	ND	ND	0.06	
		6.3~6.6			0.21	
NO.8	1.6m	2.5				0.004
		3.2				ND
		4.7				ND
		5.6				ND
		6.3~6.6				ND
		7.3~7.6				ND

※NO.9～NO.15はいずれもND (検出下限値以下)

屋久島町の埋設地



調査地点	深さ(m)	土壌中のダイオキシン濃度 (単位:百万分の1グラム)		調査地点	深さ(m)	土壌中のダイオキシン濃度 (単位:百万分の1グラム)	
		59年	元年			59年	元年
NO.1	2.0	ND	ND	NO.3	2.0	ND	ND
	3.0	ND	ND		3.0	ND	ND
NO.2	1.5	ND	ND				
	2.0	ND	ND				
	2.5	ND	ND				
	3.0	ND	ND				
	3.3	ND	ND				

※2回の調査においてダイオキシン類が検出されなかったため、以降の調査は行っていない。